

製品名: レプチン/RUVBL2 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe83967

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000
分子量	Calculated MW: 51 kDa ; Observed MW: 48 kDa

抗原情報

遺伝子名	Reptin/RUVBL2
別名	ECP51; Reptin 52; REPTIN; RUVB2; RUVBL2; RVB2; TAP54-beta; TIH2; TIP48; TIP49b; zreptin;;RUVBL2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q9Y230
免疫原	ヒト RUVBL2 由来の合成ペプチド

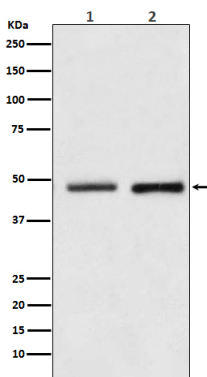
背景

一本鎖 DNA 刺激性 ATPase および ATP 依存性 DNA ヘリカーゼ (5' から 3') 活性を持ちます。六量体化は ATP 加水分解に重要であり、リング状構造内の隣接するサブユニットが ATPase 活性に寄与すると考えられています。主にヌクレオソームヒストン H4 および H2A のアセチル化によって選択された遺伝子の転写活性化に関与する NuA4 ヒストンアセチルトランスフェラーゼ複合体の構成要素です。

研究分野

-

画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) NIH/3T3 細胞溶解物におけるレプチン/RUVBL2 発現のウエスタンブロット解析。